

議会の活動

平成28年
(2016年)7月
第151号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をして参りました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成28年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

5月臨時会特集号

市会の5月臨時会は、5月16日から18日までの3日間にわたって開かれ、市長提出案件についての審議、常任委員会及び特別委員会の委員選任などが行われ、市会の新しい構成が決まりました。

16日の本会議では、「平成28年度名古屋市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)」などの市長提出案件6件についての審議の後、正副議長選挙が行われ、第91代議長に加藤一登議員が、第99代副議長に福田誠治議員が選出されました。

17日の本会議では、常任委員会及び特別委員会の委員選任が行われ、本会議終了後に開かれた各常任・特別委員会において、それぞれ正副委員長が選出されました。

最終日18日の本会議では、愛知県競馬組合、名古屋競輪組合、名古屋港管理組合、愛知県後期高齢者医療広域連合の各議会議員、名古屋市・愛知県調整会議構成員の選挙が行われました。また、市長から求められた監査委員選任3件について同意されました。

議長に加藤一登議員(民進)、副議長に福田誠治議員(公明)を選出

市民の皆様へ 正副議長就任に当たり



第91代 名古屋市長

加藤 一登
(港区選出)



第99代 名古屋副市長

福田 誠治
(南区選出)

私たちは、このたびの5月臨時会において、第91代議長並びに第99代副議長に就任いたしました。歴史ある名古屋市の議長並びに副議長への就任は、身に余る光栄であると同時に、その責任、使命の重大さを痛感しております。

まず、このたび熊本県を中心に発生しています一連の地震において、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。1日も早い被災地の復旧、復興を祈念いたしております。

本市においても、南海トラフ巨大地震の発生が懸念されており、大規模な地震が起こった場合には、甚大な人的、物的、経済的被害が想定されることから、市民の皆様の暮らしを守るため、防災・減災対策や被災した場合の早期復旧に向けた対策を喫緊の課題として迅速かつ着実に進めていかなければなりません。

二元代表制の一翼を担う議会として、市長とは相互に独立対等な立場で緊張関係を保ちながら、是々非々の姿勢で、市民の生命と財産を守り、市民の安心安全で快適な生活を実現するため、しっかりと議論をしてまいりたいと考えております。

さらに、名古屋市会では、市民の皆様からの信託に真摯にお応えするために、これまでも名古屋市議会基本条例に基づき、市会だより、ウェブサイト、あるいはインターネットによる本会議・委員会の中継などを活用し、積極的に情報発信を行ってまいりました。今後も客観的な情報や議員・議会の活動を市民の皆様に分かりやすくお伝えするため、さまざまな方法を模索してまいりたいと考えております。

正副議長として、公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいります。市民の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を心からお願いいたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

「なごや 子ども市会」を開催します

名古屋市会では、子どもたちが住むまちの議会という身近な場を実際に体験することによって、市政に対する興味・関心を高めてもらうため、市内に在住・在学する小学5・6年生を対象に、「なごや 子ども市会」を開催します。「なごや 子ども市会」では、子ども同士の話し合いや岩手県陸前高田市の子どもたちとの交流を通じ、お互いを思いやる心をより一層育む機会を設けます。あわせて本年は、熊本地震で被災した熊本市の子どもたちにメッセージを送ります。

メインテーマ

大好きな名古屋を笑顔が
あふれるまちにしよう
～ 届け、わたしたちの思い～

内 容

- 子ども議員が、委員会(グループ)ごとに分かれて、現場視察や事前の話し合いをもとに、本会議でテーマごとに意見を発表します。
- 陸前高田市の子どもたちへメッセージを送ります。
- 熊本市の子どもたちへメッセージを送ります。

日 時

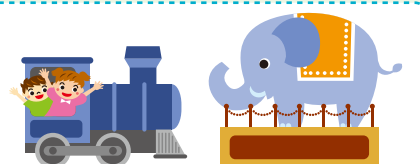
本会議 平成28年8月6日(土) 午後1時開会

「なごや 子ども市会」の傍聴は子ども議員の関係者等のみとなっていますが、8月6日(土)の本会議はインターネット中継を行います。ぜひご視聴ください。

お問い合わせ先 名古屋市中区事務局総務課 TEL 052-972-2083

エピソード ～ 子ども市会と「ぞう列車」～

名古屋市では戦後間もない昭和20年代前半に子ども議会が開催されていきました。絵本にもなった有名な「ぞう列車」を走らせたのは、その当時の子ども議会の要請でした。東山動物園に戦後生き残った2頭の象を東京の「台東区の子ども議会」の代表が名古屋市に借りにきました。しかし、2頭の象を東京まで移動させることができませんでした。その代わりに、全国の子どもたちが東山動物園の象を見られるよう「ぞう列車」を走らせることになったのです。



「なごや 子ども市会」の開催に当たり、子ども議員のメッセージを送る陸前高田市に議長が、熊本市に副議長が訪問しました



右:加藤一登 名古屋市長
左:伊藤明彦 陸前高田市議会議長



右:福田誠治 名古屋副市長
左:澤田昌作 熊本市議会議長

6月6日、加藤一登議長が陸前高田市を訪問し、伊藤明彦市議会議長や戸羽太市長と面会しました。

また、6月2日、福田誠治副議長が熊本市を訪問し、澤田昌作市議会議長や大西一史市長と面会しました。

加藤一登議長、福田誠治副議長は、両市の子どもたちとの交流を深めるため、子ども議員一人ひとりのメッセージをお届けしたいと伝えました。